



からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

【重点目標】 自ら行動し、経験に学ぶ生徒

この力はどこから湧き出てくるのだろう

第65回福島県中学校体育大会駅伝競走大会相双地区予選大会が、昨日、檜葉町総合グラウンド内駅伝コースで行われました。

「ガンバシ！ラストだ！腕を振って！」コース終盤の緩やかな上り坂の中腹で、私は目の前を走り去る生徒達に声援を送っていました。疲労がピークに達しているであろうに、生徒達は、笑顔でうなずいたり、親指を立てて「大丈夫だよ」という仕草をしたり、更にピッチを上げたり……。息を荒げ、脇腹を押さえながらも、必死に坂を上って行くのでした。

「この力はどこから湧き出てくるのだろう。」

私は、心から感動し、驚嘆しました。生徒達の可能性は計り知れないと、つくづく思いました。私にとって駅伝は、得点が入るたびに歓喜の瞬間が巡ってくる球技等とは違い、ひたすら疲労と孤独に耐えて、耐えて、耐え抜くスポーツというイメージです。しかも、苦しいからと言って途中でリタイアすることもできません。タスキをつながなければならないのですから。こんなに辛い修行(!?)のような競技をやり続けてきた生徒達に心から讃辞を贈りたいと思います。

女子 第5位！

女子は、佐藤さん(2年)→早川さん(1年)→齋藤さん(1年)→佐藤さん(1年)→高田さん(1年)が力走しました。

なかなかメンバーが集まらず、6人という少ない人数で練習を続けてきましたが、昨年から順位を3つ上げて第5位！そして高田さんが区間賞！という素晴らしい成績を残しました。



男子 第3位！

男子は、小林くん(3年)→末永くん(1年)→松岡くん(2年)→高城くん(2年)→叶くん(1年)→酒井くん(3年)が力走。昨年4位で県大会出場を逃した悔しさをバネに、この一年常設部と両立しながら練習を続けてきました。その努力が実り、見事第3位！念願の県大会出場を果たしました。更に松岡くんと高城くんが区間賞！快挙です！



人数制限により会場に行くことができなかった仲間達や、ずっと励まし続けてくれた家族に感謝し、それぞれが次の目標に向かって新たなスタートを切ってほしいと思います。